

令和 4年度

事務事業評価表 ( 令和 3年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 4 年 4 月 1 日

事務事業名		猟友会助成事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	040104000868
						単独/補助	単独	所属課	050101
政策体系	総合計画の施策名	0401 農林業の振興						課長名	農林課
	政策名	04 活力ある産業のまちづくり						グループ	農林G
	施策名	01 農林業の振興						担当者名	
	手段名	04 ④農村環境の保全							
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	06	02	01	03	00	有害鳥獣対策事業		
法令根拠						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			
桜川市鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行細則○桜川市鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律施行細則									

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
イノシシなどの有害鳥獣による被害が増加している近年、その対応において地元猟友会の協力は必要不可欠である。その中で、地元猟友会に対して補助金を交付することで、有害鳥獣被害防止対策の協力を推進するとともに、有害鳥獣からの農作物被害を軽減する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助金交付に関する事務手続き</li> <li>県西地域でのカラス一斉捕獲の際の防災無線手続き</li> </ul>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
<ul style="list-style-type: none"> <li>補助金交付に関する事務手続き</li> <li>県西地域でのカラス一斉捕獲の際の防災無線手続き</li> </ul>	猟友会運営費	千円	605.00	570.00	570.00	570.00	570.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
茨城県猟友会桜川支部	会員数	人	107.00	105.00	100.00	100.00	100.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
有害鳥獣被害対策への協力を推進する	県西地区カラス一斉捕獲の実施回数	回	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業内訳	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)	期間限定総投入量
財源	県支出金	千円	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0		
	使用料・手数料	千円	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0		
	一般財源	千円	605	595	620		
	事業費計 (A)	千円	605	595	620		
	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人		

03年度事業費 実績 (千円)

04年度事業費 予算 (千円)

事業費の内訳	03年度	04年度
18 負担金補助及び交付金	595	620
合計	595	620

事務事業名	猟友会助成事業	事務事業No.	40104000868	所属課	農林課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 有害鳥獣による被害が年々増加し、猟友会との協力・連携のため開始した。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 猟友会からは、わな等の部品や捕獲に使用する銃弾などのコスト増により、運営が厳しいとの意見がある。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 有害鳥獣対策において、豊富な知識と経験を持ち、狩猟免許を有する猟友会との協力は必要不可欠である。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 部品代や銃弾などのコスト増などがある中、猟友会都市との協力体制を維持する中で、猟友会の運営費補助は妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 現状の部品代や銃弾などのコスト増の中で、補助額を維持しながらの成果向上は難しいと考える。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 猟友会との連携を弱め、有害鳥獣対策の効率を低下させると思われる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 事業の統廃合は難しい。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 被害の増大に伴い猟友会の負担は年々増加しており、補助額の削減は活動内容の縮小につながる。また業務時間については、最低限の時間で行うことが出来ている。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 猟友会との協力は、桜川市全体の有害鳥獣対策に欠かせないものである。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)														
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	桜川市の有害鳥獣対策において、猟友会との協力は欠かせないものであり、事業内容は妥当である。														
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり															
(3) 今後の事業の方向性 (複数回答可)				(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)												
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善			<input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる												
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		成果	向上			○	維持			×	低下		×	×
成果	向上				○											
	維持				×											
	低下		×	×												
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 ③														

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>